

宇和島市 御中

# 吉田地区公共交通リ・デザイン調査 ご報告書

## ■調査概要



住民アンケート

N=304件



現地ヒアリング等

N=206件

※住民アンケート全体件数1,914件うち240件は郵便番号未記入や回答内容の不備・分析不可な状態

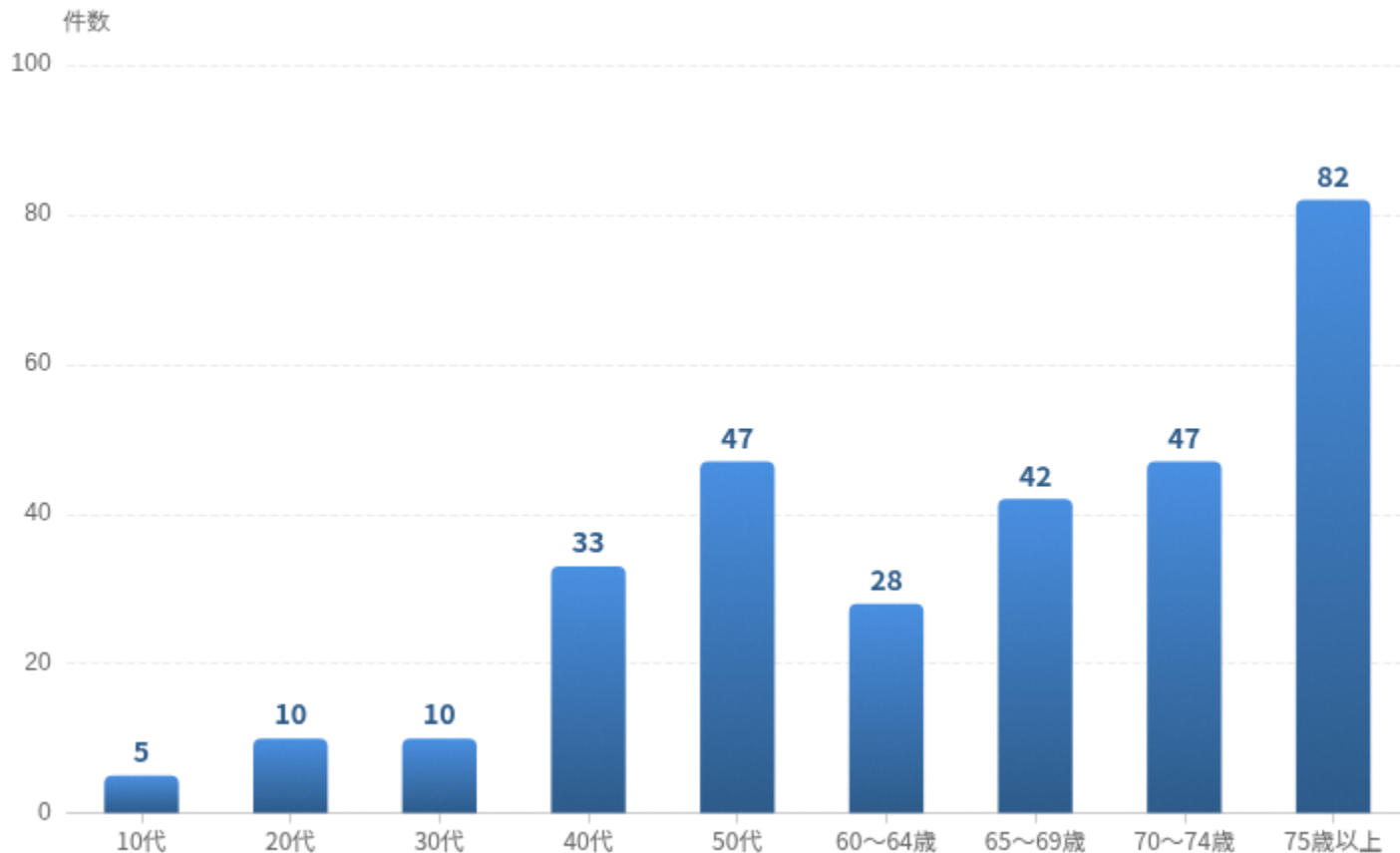
2026年4月3日

---

# 回答者の傾向

吉田地区 住民アンケート結果 (N=304)

## 年代別回答数分布 (件)



分析対象件数

304 件

## 回答構成のポイント

75歳以上が最も多く、全体の約27% (82件) を占める。

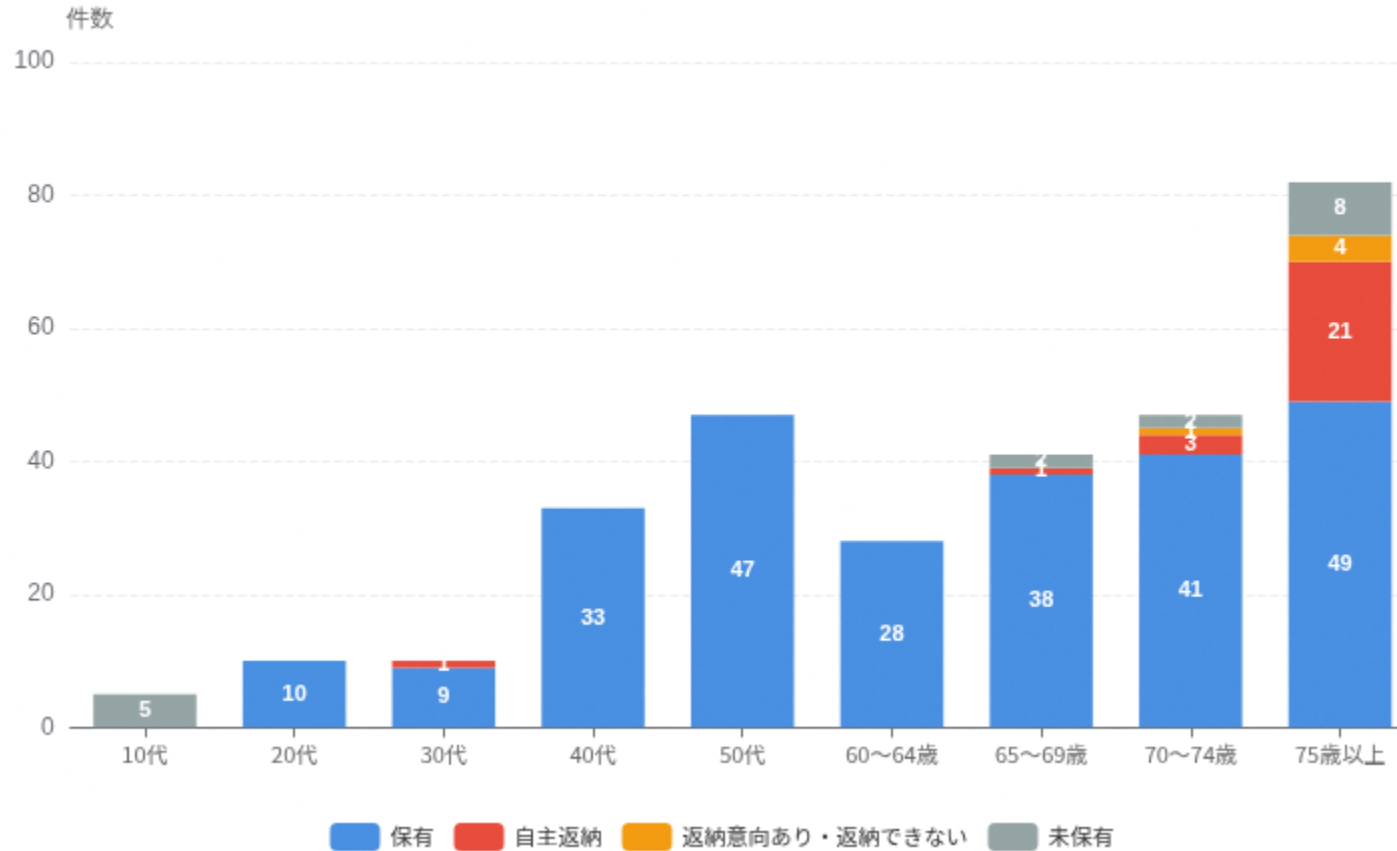
50代 (47件) と70~74歳 (47件) が同数で続き、中高年層が回答の中心となっている。

65歳以上の高齢層合計は171件で、全体の過半数 (約56%) を占めており、高齢化の進展が顕著に見られる。

# 年代別\_運転免許保有状況

吉田地区 住民アンケート結果 (N=304)

## 年代別運転免許保有状況 (件)



🚗 75歳以上の免許自主返納状況

自主返納者 **21** 件 (回答の約25%)

### 免許保有の傾向

75歳以上では、21件が自主返納済み。4件が返納意向を持ちながらも移動手段確保の問題で返納できていない。

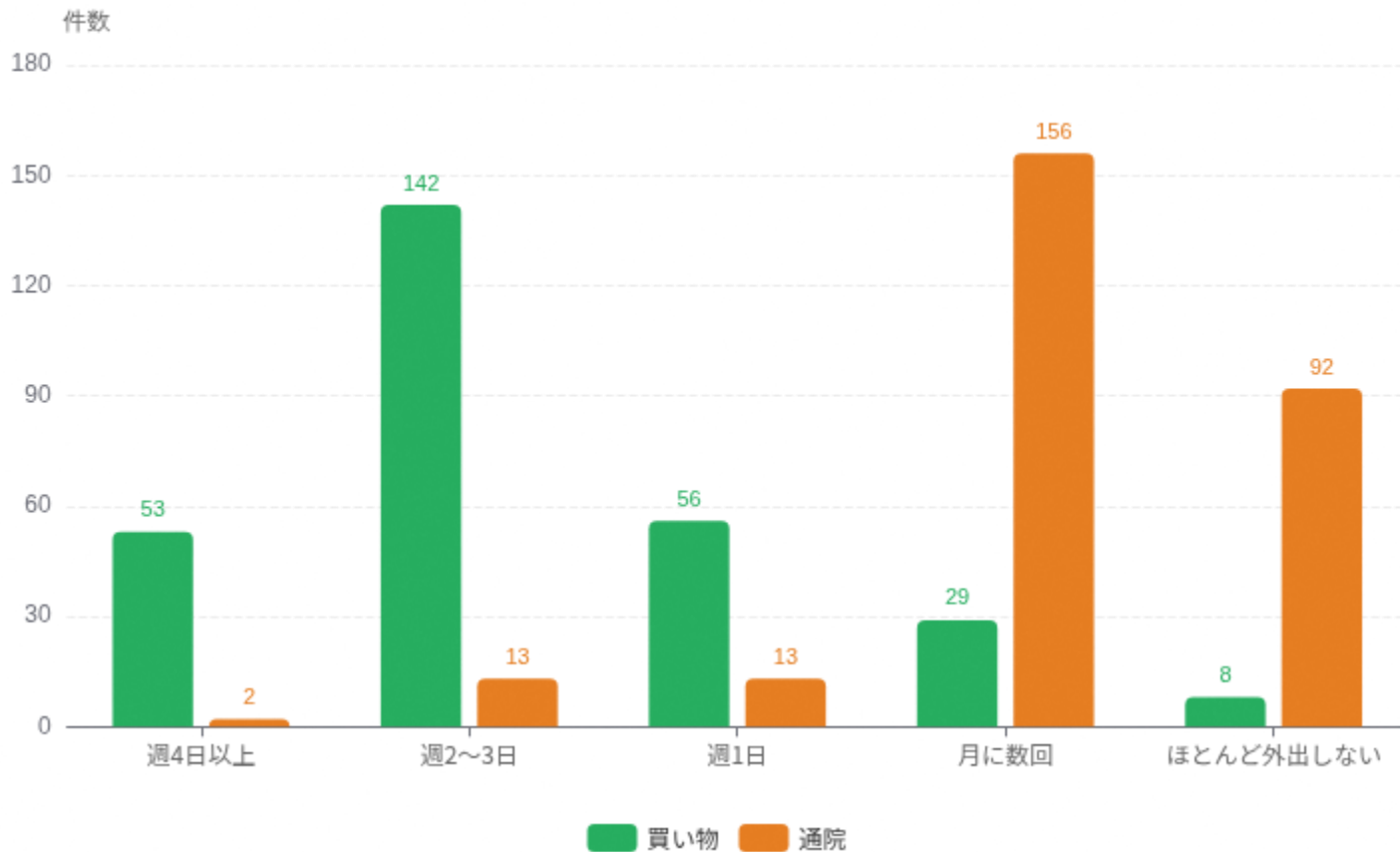
70代前半までは高い保有率を維持しているが、70~74歳でも3件の自主返納が見られる。

現役世代 (20代~60代) はほとんどが免許を保有しており、30代で1件の自主返納事例がある以外は高い保有率を示している。

# 外出頻度（目的別）

吉田地区 住民アンケート結果（N=304）

## 目的別外出頻度比較（件）



🛒 買い物の外出頻度

週2回以上 **195** 件（約64%）

### 目的による頻度の違い

買い物は「週2~3日」が142件と最も多く、全体の半数近くを占める。「週4日以上」も53件あり、高頻度での外出需要が確認できる。

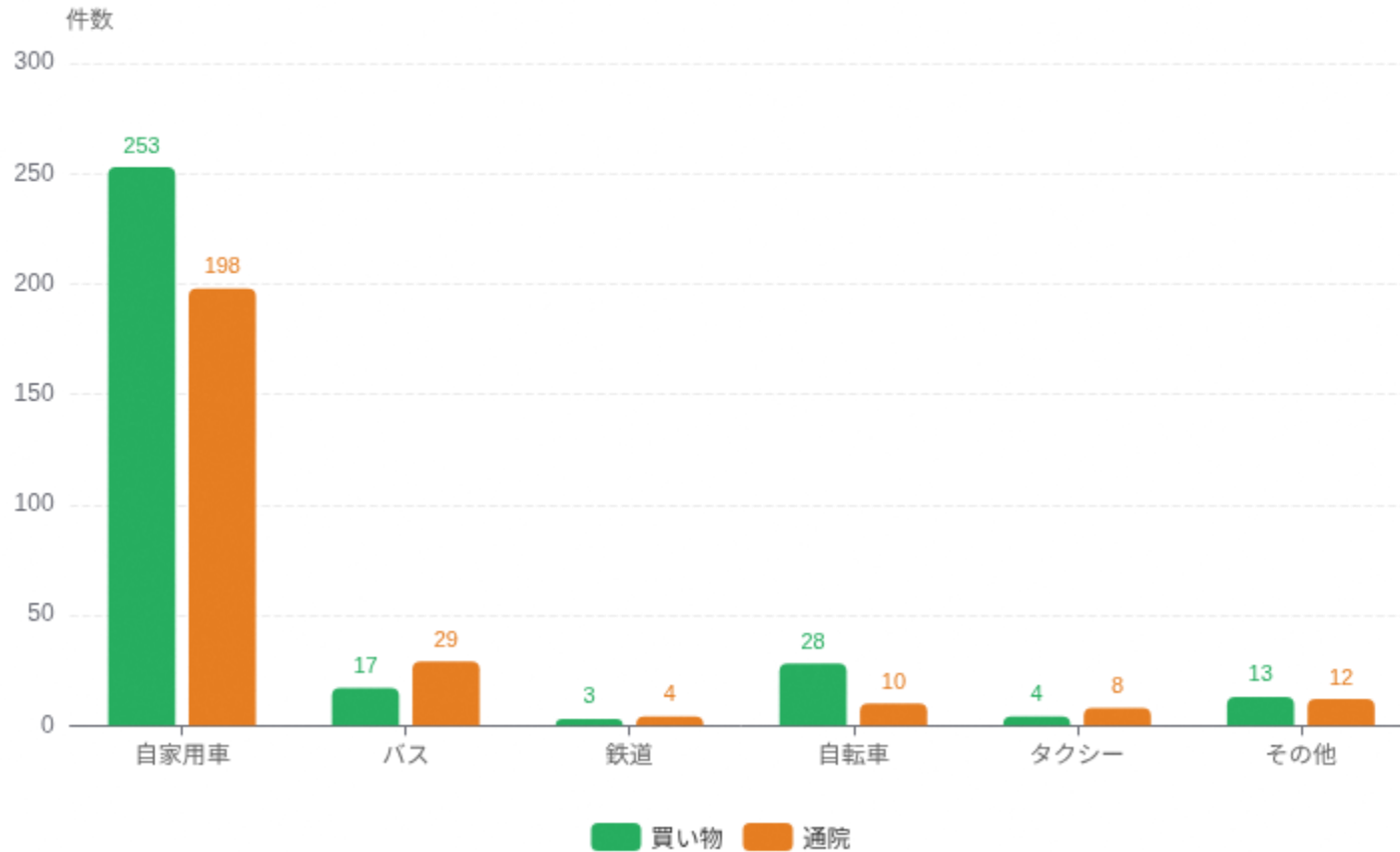
通院は「月に数回」が156件と突出しており、他地区と同様の傾向。「ほとんど外出しない」も92件と多い。

吉田地区は高齢化率が高いが、買い物目的での週次外出は活発に行われていることが示唆される。

# 移動手段

吉田地区 住民アンケート結果 (N=304)

## 目的別移動手段比較 (件)



🚗 自家用車の利用割合 (買い物)

利用者数 **253** 件

買い物移動の約83%を占め、圧倒的な主要手段

## 移動手段の特徴

自家用車が買い物の大多数 (253件) を占め、他の手段を大きく引き離している。

バスの利用は、買い物では17件と少ないが、通院では29件と利用がやや増加する傾向にある。

自転車 (買い物28件) やその他交通手段も限定的であり、自家用車への依存構造が鮮明である。

# 外出目的×交通手段：自家用車依存の可視化

吉田地区 住民アンケート結果 ※複数回答のため、各行の合計は回答者数（N）と一致しません

目的 \ 手段	自家用車	バス	タクシー	鉄道	自転車	その他
買い物	253	17	4	3	28	13
通院	198	29	8	4	10	12
通勤	134	7	0	4	8	16
趣味・娯楽	167	20	2	12	11	9
習い事	166	13	4	5	8	10
通学	22	7	1	6	11	11

※その他：家族送迎、徒歩などを含む

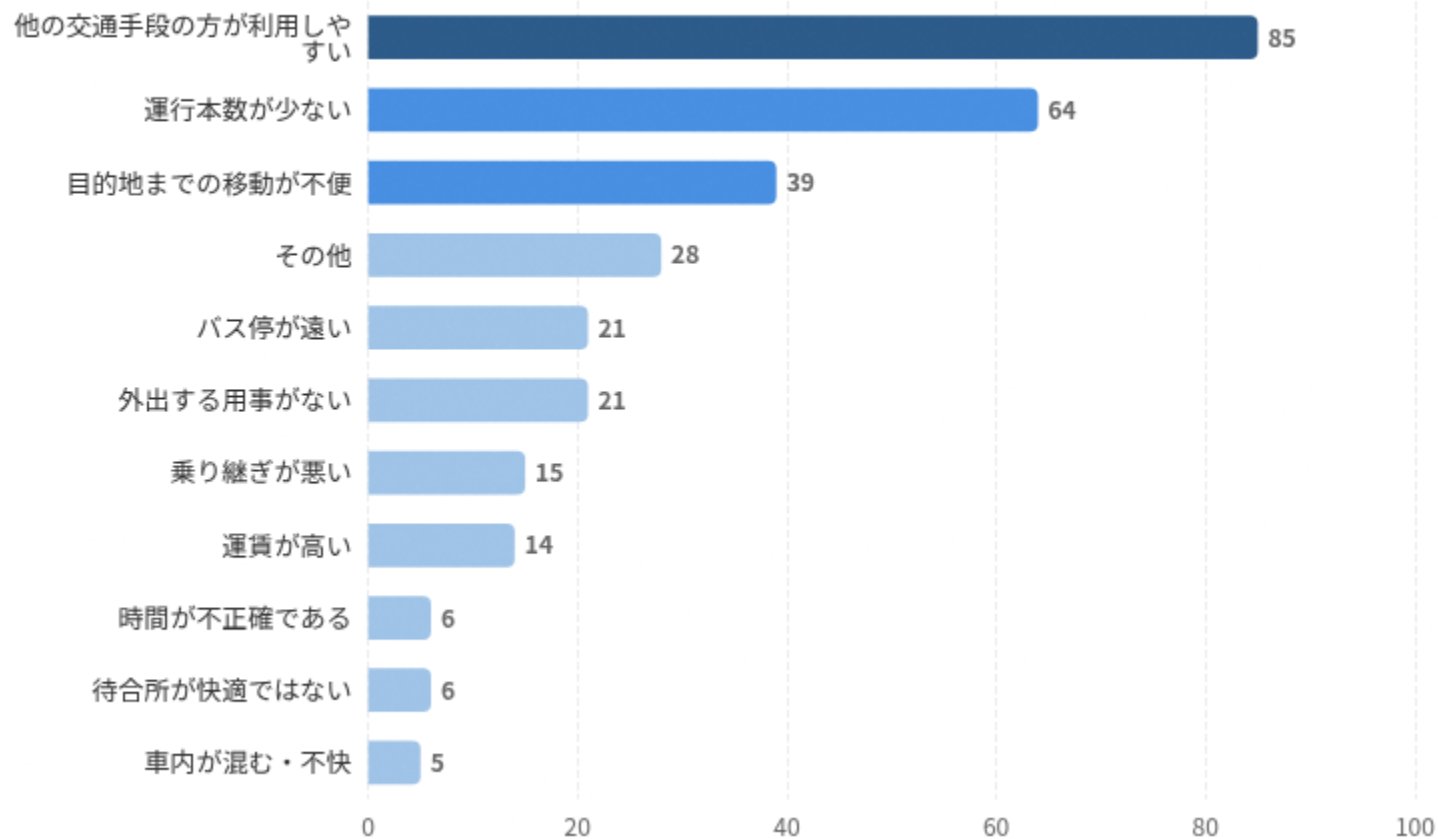
## 🔍 集計からの主な所見

全般に自家用車中心だが、特に通院（29件）でのバス利用が目立つ。鉄道利用は趣味・娯楽（12件）で相対的に多く、レジャー等での利用が見られる。自転車は買い物・通学で一定の利用があり、通勤では徒歩等の「その他」手段がやや目立つ傾向にある。

# バスを利用しない理由

吉田地区 住民アンケート結果 (N=304)

## バスを利用しない理由 (回答件数)



### ! 最多理由

他の交通手段の方が利用しやすい **85** 件

自家用車などの代替手段が優位にある状況

### 上位5理由 (件数)

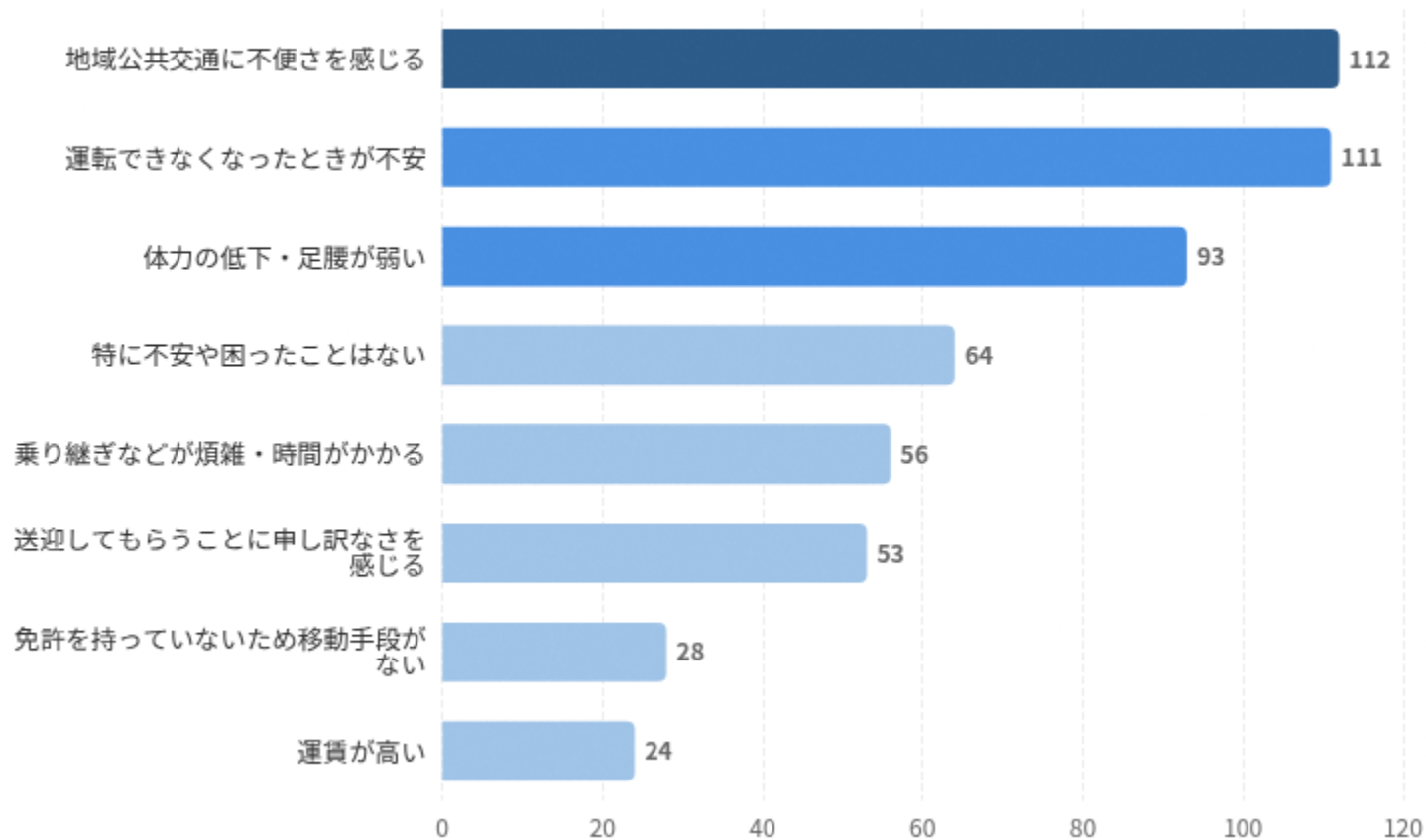
順位	理由	件数
1	他の交通手段の方が利用しやすい	85
2	運行本数が少ない	64
3	目的地までの移動が不便	39
4	その他	28
5	バス停が遠い	21

「運行本数が少ない」「目的地までの移動が不便」が上位に挙がっており、利便性と運行頻度が利用の障壁となっている。

# 外出の不安・困りごと

吉田地区 住民アンケート結果 (N=304)

外出の不安・困りごと (回答件数)



最多回答

地域公共交通に不便さを感じる **112** 件

「運転不安」と同水準で公共交通への不満が高い

上位5項目 (件数)

順位	回答内容	件数
1	地域公共交通に不便さを感じる	112
2	運転できなくなったときが不安	111
3	体力の低下・足腰が弱い	93
4	特に不安や困ったことはない	64
5	乗り継ぎなどが煩雑・時間がかかる	56

「公共交通の不便さ」が「運転への不安」をわずかに上回る結果。将来の運転断念後に利用すべき代替手段に対する信頼性が低いことが、不安を増幅させている。

# 現地でのお声（抜粋）

## 👤 将来の不安

- 🗨️ 今は困っていないが、免許返納後の移動が不安
- 🗨️ 運転に不安があり、遠出は家族送迎に依存している
- 🗨️ 家族送迎が難しい時はコミュニティバスを利用したいが降りたい場所で降りれない
- 🗨️ 市内に行く時だけバスを使う。日常は自家用車で運転しているが運転に不安はある

## ⚠️ 公共交通の不満

- 🗨️ バス便が減ってタクシーもない。一人暮らしで困っている
- 🗨️ 通院時間帯に合うバス便が減り使えない
- 🗨️ 期間限定でバスを使ったが、便数が少なく不便だった
- 🗨️ 雨天時のコミュニティバスは待ち時間が長く大変

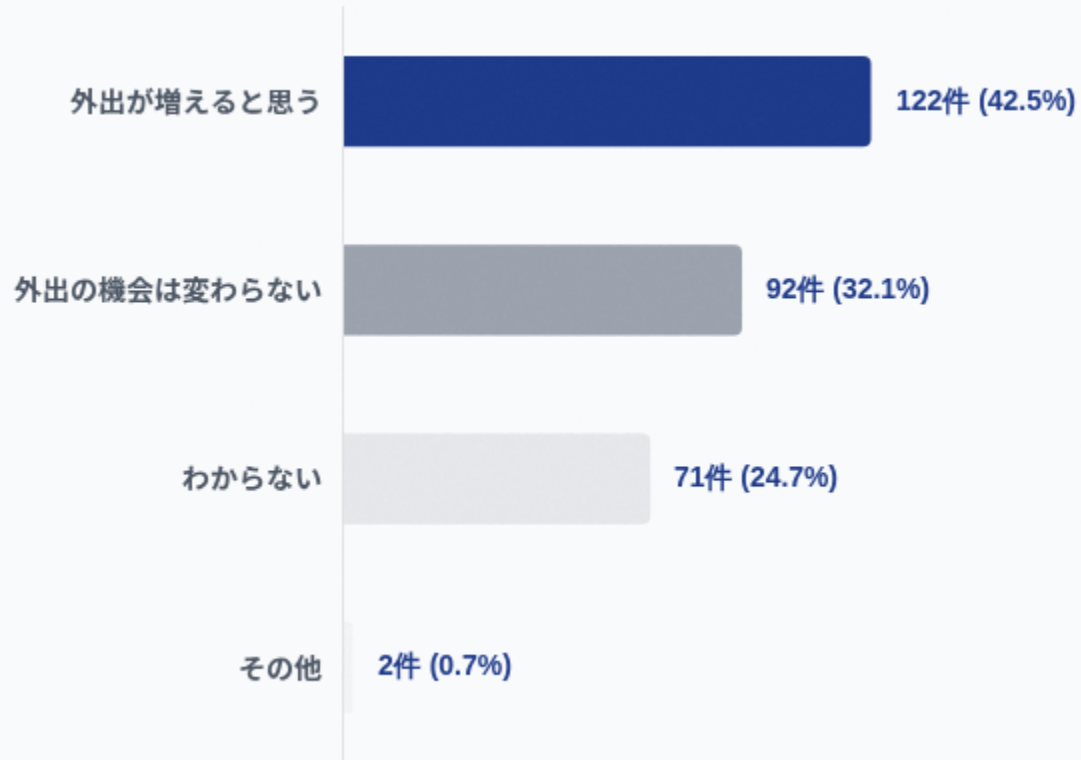
## 💡 改善要望

- 🗨️ 免許返納後に使いやすいコミュニティバスの維持・改善
- 🗨️ タクシーの配車確保や連携強化（コミュニティバスに乗れない時の移動代替手段）
- 🗨️ 雨天時など自宅前までバス来て欲しい
- 🗨️ 家族送迎が難しい時、確実に利用できる手段が欲しい

# 外出の変化

吉田地区 住民アンケート結果（※問25無回答除く）

問25 「地域公共交通が便利になることでの外出機会の变化」回答分布



※ 「便利になれば外出が増えると思う」と回答した割合を中心に分析

## 外出増加への期待が高い（42.5%）

「外出が増えると思う」との回答は42.5%（122件）。4割を超える住民が外出増を期待しており、特に利便性向上が地域活性化や外出促進に直結する可能性が高いエリアです。

## 30代の現役世代で高い期待

年代別では30代で63.6%と非常に高い期待が示されています。40代でも51.5%と過半数を超えており、現役世代の移動需要喚起に効果的である可能性が高い傾向です。

## 利用頻度・免許有無による傾向

週4日以上バス利用者では60.0%が外出増を期待。免許保有者（42.4%）と非保有/返納者（43.2%）で差がなく、免許の有無にかかわらず広範な層で外出意欲向上が見込まれます。

### 特徴：

若年・中年層や頻度利用者の反応が良く、免許の有無に関わらず外出意欲向上への期待値が高い地域です。